

東洋英和女学院大学大学院

2012年度

後期入学試験問題

人間科学研究科 修士課程

(死生学系)

専門分野

修士課程 死生学系 専門問題

問題 1

精神科医の立山萬里著「天才作家の心を読む」(文芸春秋企画出版部、2011年)の中には7人の天才作家が取り上げられている。順に挙げると芥川龍之介(1892年生まれ、1927年死亡)、三島由紀夫(1925年生、1970年45歳死)、太宰治(1909年生、1948年39歳死)、川端康成(1899年生、1972年73歳死)、志賀直哉(1883年生、1971年死)、アーネスト・ヘミングウェイ(1899年生、1961年死)、梶井基次郎(1901年生、1932年死)である。7人とも大変な名作家であり、自然、生と死、人間、人生と闇、本能と心理、精神病等に関して、生き生きと正確・明晰に、闇までも明晰に著述し、且つ芸術的にも際立って優れた作家達である。この7人のうち、5人は自死している。自死した5人を取り上げ、どのような作品を書いた作家で、どのような自死であったかを記述して下さい。(字数自由)

問題 2

次の表は2005年の国勢調査による平均寿命の最も高い市町村、最も低い市町村の一覧です。この表から、地域・環境と平均寿命の関係を800字以内で論述して下さい。

(厚生労働省「市区町村別生命表」より、市町村名は2005年当時のもの)

問題 3

次に挙げた用語について、生命倫理学の観点から、各200字程度で解説してください。

- 1) Living Will
- 2) 二人称の死
- 3) 三徴候説
- 4) 自殺幫助
- 5) 間接的安楽死